

課題を可視化し、順序立てて思考する【順序立てる】ステップチャート

【校種・学年】中学校第2学年

【教科・領域】体育科

【実践の概要】

- 1 単元名 ソフトボール
- 2 単元の目標 運動の技術を身に付けるために、自己やチームの課題を見つけたり、課題に応じた練習方法やポイントを選んだりすることができるようにする。

3 本時の実際

(1) 本時の目標

自己の課題を解決するための方法について考え、課題解決のための練習を選択することができる。

(2) 本時の展開

時	主な学習活動	研究の視点
導入	○準備体操をする。 ○前時の振り返り ・バッティングの課題と守備の課題 チームで課題解決に向けた練習方法を考えよう	
展開	○ チームごとに課題を解決するための練習メニューを、ステップチャートを活用して作成する。 ○チームごとに立てた練習を実践する。 ○簡単なゲームをする。	研究2(3) 「思考を表現に置き換える」
終末	○全員での課題を明確にする。 ○整列、振り返り、自己評価をして、次回の授業内容を確認する。	

4 ツールに見られた思考の姿

1. 課題：チームで基本的な技能の向上を図る練習をする。

時間	練習内容・練習方法
5分	キャッチボール ... <u>投げる、捕るの基本を確認</u>
10分	玉回し ... <u>ベースを使う感覚を確認</u>
15分	ノック ... <u>実際の打球を体験</u>
20分	トス ... <u>球をバットに当てる感覚を確認</u>
25分	フリー ... <u>実際の投球を自由に打つ</u>

*バッティング(トス・バント・フリーなど)、守備(キャッチボール、ノック、玉回しなど)の練習を決める。練習内容でフィールドの使い方を相談する。

5 成果と課題

○ステップチャートは、順序立てて物事を考える際や計画を立てて見通しをもつときに、有効な思考ツールであることを確認できた。思考したことを記入することで、優先順位や物事の過程(全体の流れ)を認識することができる。

■選択肢を多く用意するなど、記入させる項目に幅をもたせることで、ステップチャートをより効果的に活用することができる。